

リカレント教育エコシステム構築支援事業

令和6年度補正予算額

21億円



背景・課題

- 地方創生や産業成長のためには、「**リ・スキリングなどの人的資源への最大限の投資が不可欠**」（令和6年10月4日 施政方針演説）。
- VUCAの時代に必要とされるスキルは、資格や検定を超えた「**分野横断的知識・能力**」「**理論と実践の融合**」等であり、リカレント教育を大学等の責務として行う。
- 骨太2024においても、**地方の経営者等の能力構築や、最先端の知識や戦略的思考を身に付ける**ことについて、記載あり。

経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）2024（令和6年6月21日閣議決定）

- 1（2）三位一体の労働市場改革
地域の産学官のプラットフォームを活用したリ・スキリングの対象に**経営者を追加し、2029年までに、約5,000人の経営者等の能力構築**に取り組む。大学と業界が連携して、最先端の知識や戦略的思考を身に付けるリ・スキリングプログラムを創設し、**2025年度中に、約3,000人が参加**することを目指す。
- 3（4）科学技術の振興・イノベーションの促進
イノベーション創出に向けた地域や産業界の学び直しニーズを踏まえつつ、産業界・個人・教育機関によるリカレント教育エコシステムの創出に向けた取組を加速する。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024改訂版（令和6年6月21日閣議決定）

- Ⅲ．三位一体の労働市場改革の早期実行
（3）③リ・スキリングのプラットフォームの構築
企業成長や労働移動につながる教育プログラムを産学協働体制で開発するとともに、産学官連携で地域のリ・スキリングのプラットフォームを構築する。

事業内容

	主な補助対象	リ・スキリング対象者	成果
メニュー① 【地方創生】	地方自治体・地方大学	中小企業の経営者や地域ニーズを踏まえた人材	産学官金労官等の連携による地方創生
メニュー② 【産業成長】	最先端の教育研究を行う大学	成長分野（DXやサプライチェーン・マネジメント等）に関わる人材	産業成長や構造転換への対応

※支援対象：プラットフォームや協働体制構築経費、産学官連携コーディネーター等の人件費、外部講師への謝金等

①地方創生

産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援
(約4千万円×25か所)

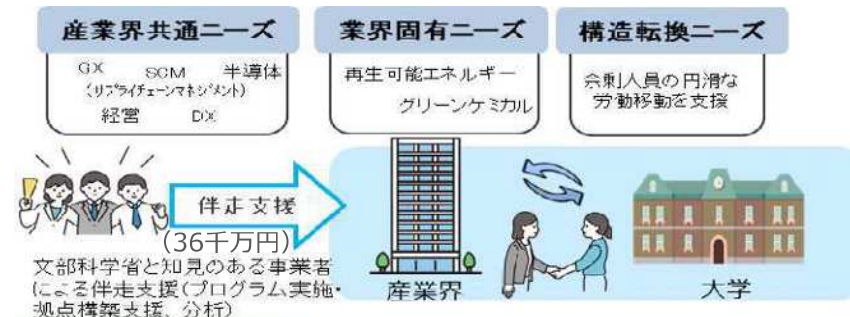


アウトプット(活動目標)

- ◆ 地方創生に資する地域単位の産学官連携プラットフォームの構築・教育プログラムの開発 ⇒ 25箇所
- ◆ 産業成長に資する産学協働体制の構築・教育プログラム開発 ⇒ 18箇所

②産業成長

リカレント教育による新時代の産学協働体制構築事業
(約4千万円×18か所)



アウトカム(成果目標)

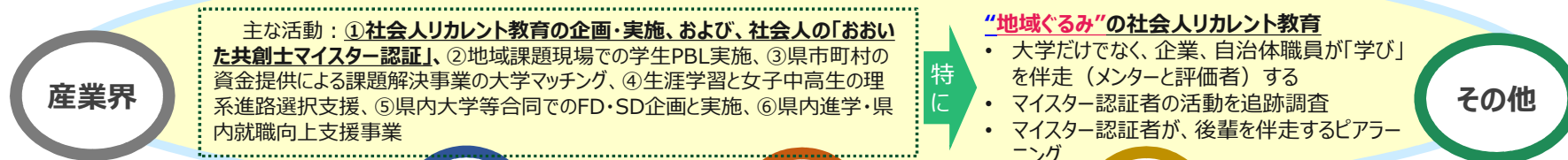
- ◆ 2029年までに経営者等約5,000人の能力構築に取り組む
- ◆ 2025年度中に最新の知識や戦略的思考を身に付けるリ・スキリングプログラムに約3,000人が参加する

インパクト(国民・社会への影響)

- ◆ 地方創生と産業成長
- ◆ 働きながら学ぶ社会人の増加
- ◆ 個人・産業界(企業)・教育機関によるリカレント教育エコシステムの自走・充実・改善
(担当：総合教育政策局生涯学習推進課)

大分大学：“地域ぐるみの学び直し・エコシステム確立” - おおいた大学発リカレント教育

おおいた地域連携プラットフォーム（大分大学地域連携プラットフォーム推進機構）
Oita Regional Cooperation Platform



<プラットフォームの概用(座組)>

	産業界	大学	行政	金融機関	その他
構成	おおいたLSIクラスター（約150社）、大分県自動車関連企業会（150社）、おおいた食品産業企業会（97社）、大分県医療ロボット・機器産業協議会（160社）など	大分大学、日本文理大学、別府大学、立命館アジア太平洋大学、県内5短期大学、大分高等専門学校、放送大学	大分県、および、大分市、別府市など県内全市町村の自治体、大分県教育委員会、大分県産業創造機構 など	(株)大分銀行、(株)豊和銀行、大分県信用組合、大分信用金庫、大分みらい信用金庫、日本政策金融公庫大分支店	(有)大分合同新聞、(株)大分放送など
役割	① リカレントの広報と参加協力 ② リカレント制度が成熟していない中小企業のニーズ提供 ③ リカレントへの経営者アンケート ④ 学生へのキャリア教育協力 など	全活動の統括 ① リカレント教育の企画と実施 ② 人材育成（学生・社会人）をテコとした地域・企業とのネット構築 ③ 地域の根幹的課題の協議 ④ リカレントの教育コンテンツ提供	① マイスターコース社会人受講者の伴走支援とそのコア能力評価 ② PBL学生への教育的評価 ③ 地域課題と解決資金の提供 ④ 学生の地域就職の支援 など	① マイスターコース社会人受講者の対面グループワークの伴走支援とコア能力評価 ② PBL学生への教育的評価 ③ 中小企業の情報提供 など	新聞掲載、テレビ・ラジオ・ネットによる広報

プラットフォームの特徴

- **産官学金63組織**（教育機関12、公共団体23、経済団体6、連携企業22）から構成される。**運営費は、大学・県・市町村が拠出している**。2024年度の運営予算は文部科学省の社会人リカレント予算1020万円を含めて**6583万円**。32の企画を大分大学地域連携プラットフォームが「おおいた地域連携プラットフォーム」の軸となり運営した。
- 3年目を迎えるリカレント教育の特徴は、大学に加え企業と自治体も参加した“地域ぐるみ”の社会人リカレントプログラムを実施している点である。具体的には、企業と自治体役職者が「学び」を伴走（メンターと評価者）すること、個人の根幹的能力（どの時代でも、どの組織でも不可欠な力）の高評価を得たマイスター認証者が、後輩の「学び」に伴走者として参加するピアラーニングを実施している点。

プラットフォームで取り組む地域課題

- 避けられない若者人口減少、特に女性の減少が遠因となった諸課題への取組課題。若者と女性が、働きがいを覚え、成長を感じる仕事環境を増やす課題など。
- リカレント教育の経験のない地域の経営者が、「学び」の場を体験や参観することをきっかけとし、人的資本経営の有効性に目覚め、「学び」の環境整備と精神的な支援により、社員の「学び」による企業のパフォーマンス向上を目指す課題 など。

6月採択時点の事業テーマ・プログラム案（今後予告なく変更の可能性有り）

大分大学：“地域ぐるみの学び直し・エコシステム確立” - おおいた大学発リカレント教育

プログラム概要

プログラム名	対象者	目的・内容
マイスターコース (継続拡大)	未来の役職者候補	受講者は、適度な専門能力の習得（ 45時間以上のオンデマンド科目 の履修）に続き、異業種のリーダー候補者との 対面グループワークの困難な実習活動 を乗り越え、 根幹的能力（Human Skill）を鍛える 。対面活動には、メンターである伴走者が客観的に数値評価し、それを元に「おおいた共創士マイスター認証」を授与する。組織にとっては、人的資本経営のエビデンスとして認証を活用できる。
トライアルコース (継続拡大)	「学び」の希望者全員	「学び」から遠ざかっている方が 「学びの喜び」を思い出すことを目的 とする。10時間以上のオンデマンドの科目受講のみ。次年度のマイスターコース、女性社会人リカレントにつなげる「きっかけ」としたい。
女性社会人リカレント (新規企画)	管理職になんてなれる気がしない、自分には到底やれないと意識している女性社員（育休・産休の方を含む）	若手女性の不安感・焦燥感による低い自己肯定感の軽減・克服を目的とする 。マイスターコースと同様に、二段階の「学び」を受講する。最初に、オンデマンド科目を所定時間、孤独に耐え学び抜く。次に、以下のベネッセ社が開発した女性メンターとオンライン対話するプログラムに参加する。その方法は、他社の多様なタイプの現役女性リーダーとの出会い、対話を6回オンラインで実施する。等身大のメンターの選定には、ベネッセ社の600人の候補からAIを活用したマッチングシステムを活用する。
経営者啓発コース (新規企画)	中小企業の経営層とPCを使える若手の ペア 。特に、教育投資に魅力を感じていない経営者	PCが使える若手社員とペアになった経営層の方が、AIを活用した業務改善を体感（理解ではない）できる”AIことはじめ講座” を開講する。その後業務で活用した結果について、若手の参加者同士がオンラインで共有できる場を作る。受講によりビジネス活用したいと考えが変わった経営者に対して、 地域のAI企業が対面で相談を受けつける（アフターケア）場も用意する 。地域中小企業の経営者は、現場で必要な知識付与しか「学び」として認めない傾向が強いが、AIは、個人の認知能力向上を促したり、問いの力を鍛えたり、業務の再定義そのものにつながる。さらに、AIを蝶番にすることで上司と社員の対話が生れやすい場となる。 本プログラムの目的は、AIのこれらの特性を利用し、「学ばなくても良い」社風風土の突破口になることにある 。
研修カスタマイズ事業 (新規企画)	自治体、企業などの組織	自治体、スタートアップを含む小規模組織の経営者などと企業のニーズ調査を行う予定

令和6年度リカレント教育プログラム受講実績

	マイスターコース	トライアルコース
コース概要	リーダー候補者の養成を目的とする上位コース	学びのときめきに触れる導入コース
申込者数	13名	36名
認証者、修了者数	11名	27名（13名がLSI）

“おおいた共創士マイスター認証”



第 2024-**号
おおいた共創士マイスター

Certification

2024 Meister of “Oita KyoSoShi”

おおいた共創士マイスター2024

大分花子

Oita, Hanako

おおいた地域連携プラットフォームが、2024年9月から2025年2月まで主催した社会人学び直しプログラムにおいて、大分花子氏は優秀な結果を残しました。この認証は、これからの時代におけるリーダーとしての能力をしっかりと裏付けたものです。この業績が、大分花子氏の人生におけるさらなる成功への第一歩となることを期待します。

OITA, Hanako has achieved outstanding results in the recurrent learning program organized by the Oita Regional Collaboration Platform, ORCP, from September 2024 to February 2025. This certification confirms this person's potential as a leader in the coming era. It is hoped that this achievement will serve as the first step toward greater success in this person's life.

北野 正剛 KITANO, Seigo
CHAIRPERSON OF ORCP
PRESIDENT OF OITA UNIVERSITY
おおいた地域連携プラットフォーム：ORCP

This recurrent learning program was commissioned by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) supplementary budget for fiscal year 2023 aiming at working adults.
文部科学省令和5年度補正予算事業の委託を受けて、本プログラムは社会人学び直しのために実施されました。

令和6年度補正予算「リカレント教育エコシステム構築支援事業」申請・採択件数

○メニュー①産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援

(1) 申請・採択件数

事業テーマ件数	申請件数	採択件数
	43	27

(2) 申請・採択機関数（設置形態別）

学校種	設置形態	申請機関数	採択機関数
大学	国立	29	21
	公立	3	3
	私立	7	2
	小計	39	26
短期大学	国立	0	0
	公立	0	0
	私立	1	0
	小計	1	0
その他	自治体	1	0
	大学コンソーシアム	1	1
	小計	2	1
合計		42	27

※複数テーマで申請している大学があるため、申請件数と申請機関数は一致しない。

○メニュー②リカレント教育による新時代の産学協働体制構築事業

(1) 申請・採択件数

プログラム件数	申請件数	採択件数
	37	19

(2) 申請・採択機関数（設置形態別）

学校種	設置形態	申請機関数	採択機関数
大学	国立	18	10
	公立	1	0
	私立	9	6
	小計	28	16
合計		28	16

※複数プログラムで採択される大学があるため、申請・採択件数と申請・採択機関数は一致しない。